

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2017年3週の県全体の定点当たり報告数は、2週の20.04から増加し37.90となった。前週から1.9倍の増加となり、国の定める警報基準値(30)を超えたため、今後も流行状況に注意が必要である。

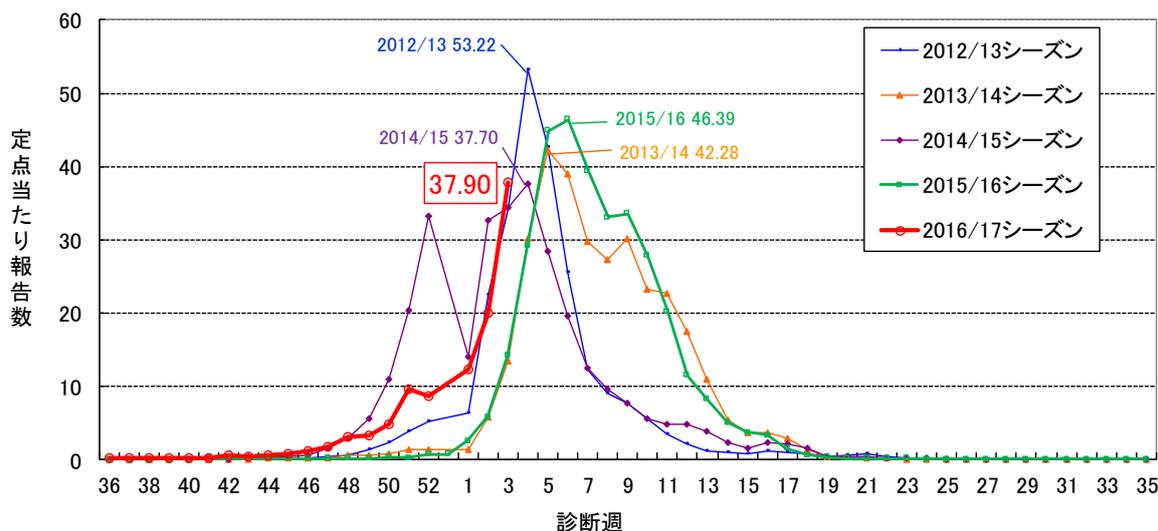
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所全ての保健所管内で増加し、市原(60.00)、香取(51.83)、松戸(46.56)、君津(45.08)、印旛(44.75)が多い。

2017年3週の年齢群別報告割合は、5～9歳26.3%、10～14歳19.9%、0～4歳16.0%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳20.5%、10～14歳17.7%、0～4歳14.5%が多かった。

2017年3週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、7,642例中A型7,409例(97.0%)、B型208例(2.7%)、A and B型5例(0.1%)、A or B型20例(0.3%)であった。2016/17シーズン合計では、21,364例中A型20,813例(97.4%)、B型444例(2.1%)、A and B型14例(0.1%)、A or B型93例(0.4%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

